

JERコンクリート補改修協会

・ブースの基本コンセプト

シートライニング工法「ジックボードT工法」前面に推し、下水道自立マンホール更生工法「ジックボードJ工法」、下水道複合マンホール更生工法「ジックボードM工法」、下水道マンホール防食工法「ZモルタルKS500M工法」の各工法サンプルや現場ミニチュアサンプルを設置することで来場者さまの興味を引き、足を止めていただけるようなブースづくりをしました。

・今年のごだわり

①シートライニング工法「ジックボードT工法」は、高耐久性ビニルエステル樹脂FRP板の裏面に立体クロスを一体成型した成型板【ジックボード】を、特殊無機系モルタルを介して躯体コンクリートに固着・一体化した防食被覆層を形成させるコンクリート防食工法です。

②下水道自立マンホール更生工法「ジックボードJ工法」は腐食や老朽化により耐荷力が期待できない既存マンホールに対して、更

生材のみで新設マンホールと同等の性能を有する自立マンホール更生工法です。非開削でも施工可能です。夜間や休日に道路開放が可能です。作業ヤードの確保が小スペースで施工ができます。

・来場者へのメッセージ

今回の下水道展では、シートライニング工法「ジックボードT工法」、下水道自立マンホール更生工法「ジックボードJ工法」、下水道複合マンホール更生工法「ジックボードM工法」、下水道マンホール防食工法「ZモルタルKS

500M工法」の各工法サンプルを展示いたします。

国民生活に直結する水インフラ事業の防食技術のさらなる飛躍とともに、これまでの補修事業の経験とノウハウを生かし、新たなコンクリート補修技術の開発にも尽力し、わが国が直面しているインフラ施設の老朽化対策、防災・減災・予防保全といったさまざまな社会成長課題にも真摯に向き合い、技術躍進とユーザーの皆さまの価値創造に努め、社会貢献を果たしてまいります。

『技術に生きる！社会の成長課題解決に挑み続ける日本ジックウ』にご期待ください。

